

子ども夢フォーラム

News!

NPO(非営利任意団体)
2018. 11. 15 (No. 110)

【隔月発行】 発行責任者：高木眞理子



深まりゆく秋！

寒さのテンポは日々速くなり、冬物衣類や暖房用品などを急いで
ひっぱりだされた方も多いのではないのでしょうか。

金沢・兼六園では冬の風物詩、雪吊りが進んでいます。



言ってみるものね
“大好き！柿！”と。
頂いた柿に
笑みこぼれ。

秋色に色づいた木々の葉は、風に誘われるたびに
ひらひら舞いながら着地場所を探しているよう。
一陣の強風は、はっぱを掃き集める箒のごとく。

・・・時の流れを振り返る移ろう季に・・・



第22回受け手養成講座も終盤です！

11/25は
公開講座です！

生きづらさを感じている子ども・若者が増えています。
私たち大人がどのようにに関わり、支えればよいのかを学ぶ機会です。
子どもに寄り添うために私たちにできることを一緒に考えましょう！
我が子に悩んでいる方、親や子どもを支援している方々のご参加を
お待ちしております。

9月は台風がたくさん日本列島を襲いましたよね。
9月30日(日)の公開講座は、もろにその影響を受けました。
数日前からの台風の状態が気になり、天気予報を注視していました。
講師は京都からお見えになるので、サンダーバードの運行状況とにらめっこ
の日々でした。前日には電車が止まることが確実となったため取りやめました。
講師とご相談のうえ11月25日(日)に延期しての開催となりました。
あらためて皆さまのご参加をお待ちしております。

**子ども・若者の自死回避につなげるため
いま大人に求めること**

講師：田中研三氏(チャイルドライ)

日時：2018年11月25日(日)

会場：金沢市教育プラザ富樫31

参加費：1000円

日本女性会議 2018 in 金沢のご報告

2018. 10. 12 (金) ~ 14 (日)
会場：金沢歌劇座ほか



2年がかりで準備を重ねてきた「日本女性会議 2018 in 金沢」は、おかげをもちまして無事、終了いたしました。ご参加、ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。冷たい風が時折吹いていたものの、期間中、空は青く晴れわたる気持ちの良い日々でした。全国・県内を含め、2000人近い参加者でにぎわいました。

1日目、メイン会場の金沢歌劇座では、オープニング（金沢素囃子保存会）、開会式、基調報告などをおこないました。分科会は、金沢歌劇座ほか周辺の会場に分かれて9つの分科会をおこないました。

夕方から東急ホテルに移動しての交流会は700人近い人々の参加があり、金沢らしいお料理の数々に舌鼓をうちながら、分科会講師らとの話が咲いていました。

2日目は、金沢歌劇座で女性音楽師松田若子氏による舞と記念講演、分科会報告と続き、午後は、最初に遊学館高等学校吹奏楽部が出演。わずか15分の出演でしたがマーチングバンド全国大会に連続出場している学校だけあって、構成・演奏・バトンなどそれは見事、圧巻でした。会場からは「ブラボー！」「アンコール！」の聲がかかり、拍手が鳴りやみませんでした。感動しました！

その後、シンポジウム、閉会式と続き、来年度の佐野市に無事、バトンが手渡されました。

3日目は、県外の方たちのエクスカージョン・・・思い思いのコースへ。

子ども夢フォーラムは、金沢歌劇座での分科会を担当しました。

学ぼう！子どもの今と未来について！ ～子どもの豊かな成長を保障するために～

ここには、300名余の参加がありました。

パネリストの方々からは、子どもとの関わりからの気づきや、子どもに寄せる想いが話され、関わることへの覚悟に心動かされた人が多くいたようです。

コーディネーターの語り掛けで会場は一つになっていく様子にも驚きました。

終了後、会場を後にされる人たちの「感動しました～！」などの声に、この分科会の成功を確信しました^^。

分科会を組み立てる際、「子どもの貧困」を「子どもの権利」の視点でとらえたことで、支援者の方々にとって根源的な関わりに気づく機会になったと思えました。そうした想いを十分くみとって内容を組み立ててくださったコーディネーター・パネリストのみなさまには感謝の気持ちでいっぱいです。



翌日の分科会報告では、三つの提言を画面に示しながら、パネリストのお話を要約して簡単に報告をさせていただきました。

1. 子どもも、親・おともも自己肯定感を育む支援を！
2. 目の前の子ども1人ひとりが持つ権利保障に向けた支援を！
3. 子どもが権利として選べる参加できる社会を！



大会報告書をお楽しみにいっしょに！



リレーションシップほくりく富山大会のご報告

2018年10月20日(土)
会場：サンシップとやま

テーマ「信じよう！子どもの力！」



富山県内のリレほく加盟団体の活動紹介のあと、「とやま子どもの権利条約ネットワーク子ども実行委員会」から自分たちで考え完成させた「子どもがつくる子どもの権利条例」の発表がありました。それについてご報告します。

「子ども実行委員会」は、「子どもの権利条約フォーラム 2009 in とやま」の開催にむけた動きの一環として、小中高の学校を通じて子ども実行委員を募り、参加を希望した子どもたちによりスタートしました。2010年3月、フォーラム実行委員会の解散後、「とやま子どもの権利条約ネットワーク」(代表明橋大二氏)を発足し継続した動きに。子ども実行委員会の継続も決定。その後、2011年6月にリレほくが発足。2012年7月、子ども実行委員2期生、活動開始。リレほくや各地の子どもの権利条約フォーラムで、分科会などに積極的に参加しています。3年かけて完成させた「子どもがつくる子どもの権利条例」を子どもたちが披露してくれました。いまは3期生。

～ここでは前文をご紹介します～

「子どもがつくる子どもの権利条例」
～これは「子ども」のための条例であることを忘れない～

前文
「子どもと大人がよいカンケイを築くことのできる社会にしたい」
「子どもの気持ちを大人に伝えやすい環境をつくりたい」
そう思い、子どもが子どものための条例をつくりました。
そして、この条例を、子どもから大人へのメッセージとしました。

- ・子どもにとって良い環境をつくり、育て、支える。
- ・どんな理由であれ、絶対に子どもに暴力を振るわない。
- ・子どもの意見を最後まで聞く。
- ・子どもがやりたいと言ったことを応援する。
- ・大人の意見を子どもにおしつけない。
- ・大人は子どものお手本になる。

この6つが、この条例を通して大人に伝えたいメッセージです。
大人に本心を伝えられる子どもが増えてほしい。
悩んでいる子どもが減ってほしい。
子どもにとって素晴らしい社会になることを心から願っています。

とやま子どもの権利条約ネットワーク 子ども実行委員一同



★子どもにとって・・・
★どんな理由であれ・・・

この部分は
大事ですよ

子どもからのメッセージが
やさしく沁みてきます。
しかと受けとめ、
これからの活動の軸を
よりしっかりと、の想いを
強くしました。

認定子育てハッピーアドバイザー 養成講座 終了のご報告

2018年11月4日(日)5日(月)

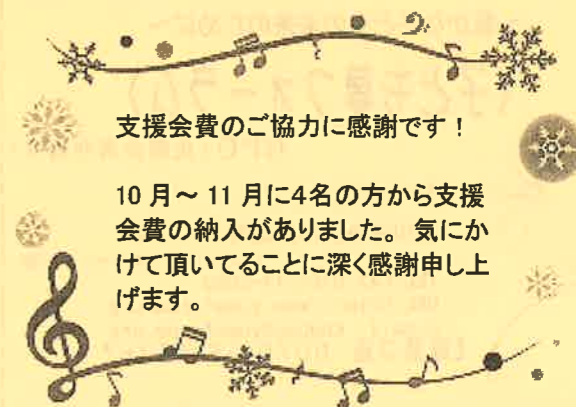
会場：金沢市ものづくり会館

定員の6名で二日間、和やかな雰囲気の中、自己肯定感について深く学びました。今後、自身の子育てや地域などで、学びを活かしてくださることでしょう。

楽しみです^^。

支援会費のご協力に感謝です！

10月～11月に4名の方から支援会費の納入がありました。気にかけて頂いていることに深く感謝申し上げます。





【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、毎日、全国で実施中★
0120-99-7777 (16時～21時)
《いしかわは、金曜日と土曜日を担当!》

- 10月 12～13 (金土) 日本女性会議2018in金沢
- 16日 (火) 委員会
- 20日 (土) リレほくin富山 (富山)
- 21日 (日) ガイドラインPT (東京)
- 23日 (火) ホットとアート
- 24日 (水) 打合せ
- 25日 (水) 金沢市委員会
- 27日 (土) パパ子育て講座 (小松)
- 〃 受け手養成講座
- 11月 4～5 (日月) 子育てハッピーアドバイザー養成講座
- 9日 (金) リレほく/石川事務局会
- 15日 (木) 講演
- 17日 (土) パパ子育て講座 (羽咋)
- 〃 受け手養成講座⑥⑦
- 21日 (水) 委員会
- 23日 (金) 北陸近畿エリア会議
- 25日 (日) 受け手養成公開講座⑧
- 12月 1日 (土) 受け手養成講座⑨⑩
- 3日 (月) 打合せ
- 4日 (火) 金沢市委員会
- 8～9 (土日) 全国運営者委員会 (東京)
- 1月 19日 (土) パパ子育て講座 (小松)
- 26日 (土) パパ子育て講座 (金沢)

12/29～1/3まで事務局はお休みします。

「パパママ・ホットライン」

火水木金 (10時から15時)

076-214-6666

「ホットとアート」を提供しました!



2018年10月23日(火)
金沢大学附属病院小児病棟



「ホットとアート」は、長期入院児やその家族にホッとする時間を提供するため、2010年から実施しています。

今回は、4年ぶりの実施でした。

子どもたちの笑い声やはしゃぐ姿が会場に響いて、あ～楽しい時間を提供できてよかったと、嬉しくなります。

ある子は、普段、病室で片言しか話さないのに、前に出てハキハキ答えていた姿に、ご家族や看護師たちはビックリされたそうです!

これからの治療に取り組む子どもたちの内なる力を引き出せたとしたら幸いです^^。

公演終了後、病室を出られなかった子どもの部屋をブッチーさんが訪問し、バルーンアートをプレゼントして回りました。

会場に居られる制限時間がきてしまって途中で会場を出ていく子が発した言葉は切なくもあり、嬉しくもあり、でした。

もっとみた～い!

～豊かな子どもの未来のために～

〈子ども夢フォーラム〉

NPO(民間非営利団体)

〒921-8101

石川県金沢市法島町1-1-8

いしかわ子ども交流センター2階

TEL/FAX 076-214-5680

URL <http://www.yumeforum.org>

E-mail kodomo@yumeforum.org

振替口座 00700-5-46262

〈子ども夢フォーラム〉は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。

子どもの声からの気づきすることも重要と捉え、
「パパママ・ホットライン」や、



展開しています。

きを大人社会にフィードバック
大人の話を受けとめる「パパママ
「パパ子育て講座」などの活動を
同時に他団体とのネットワーク

も大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていききたいと思います。